

新厚別ふれあい循環バスへの支援、  
学校給食の今後の検討の在り方

よしおか ひろこ  
吉岡 弘子 日本共産党



新厚別ふれあい循環バスは、目標の収支率に未達の場合、廃止も含めて検討されるため、継続できなくなることが危惧されます。持続可能な地域交通となるため財政支援などの支援を行うべきだと考えますが、いかがですか。  
市答 新厚別ふれあい循環バスの運行継続のために、本市としても地域住民にしっかりと寄り添い、利用促進や協賛金獲得などの取り組みへの支援を継続していきます。

今後の学校給食の在り方は、経費削減の視点だけでなく、食育など教育的観点を優先し、本市が責任を持って検討すべきです。市民に現在の検討状況を広く周知するとともに、学校現場も含めて広く市民の意見や提案を取り入れるべきだと考えますが、いかがですか。

市教委答 昨年度実施した調査結果を公表するとともに、本年から開催を予定している有識者会議では、教職員や保護者などの意見を取り入れながら、持続可能な給食提供の在り方を検討していきます。  
※市教委=市教育委員会



長引く物価高に伴うさらなる支援、  
魅力的な健康アプリの導入

もりやま ゆみこ  
森山 由美子 公明党



長引く物価高の中、物価上昇を上回る賃金上昇にはなっておらず、依然として市民生活は厳しい状況です。増額措置された国の交付金を財源としながら、本市独自の財源も活用して市民生活や事業者へのさらなる支援を講じるべきだと考えますが、いかがですか。  
市答 まずは、本年第1回定例会で議決された補正予算で行う水道料金の基本料金の減額や食料品高騰の影響を受ける保育所への支援など、市民生活や事業者への取り組みを進め確実に支援につなげます。その上で、社会情勢を踏まえて必要と判断した支援策は、国の交付金を活用しながらスピード感を持って講じていく考えです。

来年度から健康アプリが導入されますが、使い方などが不安な市民にも、制度の魅力や意義を分かりやすく伝えることで、健康づくりにへの関心が高まると考えます。そこで、健康アプリの仕組みや魅力を市民にどのように伝えますか。また、多くの方が楽しく前向きに参加できるようにするために、どのように取り組みますか。

市答 各種媒体を活用した広報や啓発イベントでアプリの魅力を伝えていきます。また、市民モニターの意見から改善を重ねたり、企業などとも協同して新たな交流や活動につなげたりすることで、気軽に楽しく利用できるアプリになるように取り組みます。



青少年育成委員会の行事で参加者や委員がけがをした事案があり、同委員会に大きな混乱や精神的な負担が生じたため、行事を全て中止し研修などを行うこととしました。同委員会の精神的な負担軽減のため、本市はどのように対応しますか。また、他のボランティア活動の支援を進める上で、この事案をどのように生かしますか。  
市答 日頃の活動や行事の開催に当たり、事前の備えや事故発生時の対応手順などを整理し、青少年育成委員会が安心して活動できるように支援します。また、地域のボランティア活動全般でも、今回の事案を踏まえ、不測の事態に備える重要性を関係団体と共有していきます。

道路の陥没対策、子ども・若者への支援、「食」のさらなるブランド化に向けた取り組み

しのはら すみれ  
篠原 すみれ 民主市民連合



清田区で発生した道路陥没事故の原因がまだ特定されず、市民から再発や安全性を懸念する声が寄せられています。未然に防ぐ対策を一層強化し、加速させる必要があると考えますが、今後どのように取り組みますか。  
市答 道路の陥没を未然に防ぐため計画的な維持・修繕や調査を実施しているほか、緊急措置が必要な場合は速やかに予算や実施体制を確保しています。また、各施設の管理者が持つ情報やノウハウを基にリスクを評価し、点検・修繕計画を見直すことで損傷の早期発見につなげるなど、陥没対策の充実を図ります。



生きづらさを抱え居場所を求める子どもや若者には、彼らに寄り添い包括的に支えることが必要です。そのため、子どもや若者の取り巻く状況を把握し、必要な支援や取り組みを検討すべきだと考えます。本市は、子どもや若者の現状をどのように認識し、どのように取り組みますか。  
市答 誰にも相談できずにいる子どもや若者が少なからずいる中で、誰もが安心できる居場所を見つけて生活できるように、社会全体で支える必要があると認識しています。民間団体とも連携しながら、社会全体で全ての子どもや若者の健やかな成長を支えたいと考えています。

本市は「食」が魅力の一つであり、他自治体との差別化を図るため、国内外の人や企業を引き付ける魅力や環境を構築・整備して付加価値を高めることが必要です。食のさらなるブランド化に向け、どのように取り組みますか。  
市答 「食」がテーマの映画などを活用して、食の魅力や国内外に広く発信するほか、観光やITなど異なる分野の事業者や教育・研究機関などと関係性を構築し、官民連携による技術革新の場を創出することで、「美食のまち・さっぽろ」のブランド化を進めます。

# 市議会の動き

5月21日に招集された第2回定例会の中から、5月29日、30日の代表質問の主な内容や、可決した議案などについてお知らせします。

## 第2回定例会（可決した議案など）

- 令和7年度一般会計補正予算
  - 地方消費者行政の拡充・強化を求める意見書など、合計43件の議案などを可決しました。
- 代表質問の映像はこちらから▶



## 丘珠空港の機能強化、札幌北広島環状線の整備、地域のボランティア活動に対する支援

やまだ いちろう  
山田 一郎 自由民主党



国が丘珠空港の機能強化に向けた調査費を本年度予算に計上したことで、滑走路延伸への動きが加速していくと考えます。滑走路延伸を想定して、空港ターミナルビルや駐車場の拡張などの機能強化を本市が先導して取り組むべきだと考えますが、国の調査や検討を踏まえてどのような姿勢で取り組みますか。また、機能強化の早期実現に向けた取り組みをどのように加速させますか。

市答 延伸する滑走路の2030年供用開始に向けて、国と密接な協力体制を築き、関係機関との連携や市民との情報共有など積極的に役割を果たしていく考えです。丘珠空港の機能強化は、本年度内にも方向性が示せるように検討を進めたいと考えています。



札幌北広島環状線の屯田・茨戸通の工事は進められていますが、江別市と本市を結ぶ区間はまだまだ整備されていません。この未整備区間を整備することで産業拠点が結ばれ、交通の円滑化や物流の効率化が期待されます。現在工事中の屯田・茨戸通の開通の見通しと、未整備区間の整備をどのように進めるのか伺います。  
市答 屯田・茨戸通は、来年夏ごろの供用開始を見込んでいます。未整備区間の江別市側は、昨年度から北海道が整備に着手しており、本市側は、国の補助事業として来年度の新規採択を強く要望し、北海道と連携を図りながら早期の事業化に向けて取り組みたいと考えています。

## 委員会の主な活動状況（6/11～7/10）

大都市税財政制度・DX推進調査特別委員会  
令和8年度国の施策および予算に関する提案（通称～「白本」）について財政局から説明を受け、質疑を行いました。（6/17、6/30）  
総合交通政策調査特別委員会  
北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）についてまちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。（6/23）

## 第3回定例会のお知らせ（本会議・決算特別委員会）

令和7年第3回定例会は9/24(水)から10/31(金)まで開催し、代表質問は9/29(月)から3日間の予定です。

月 日	審議日程（日程は変更する場合があります）
9月24日(水)	招集日、市長提案説明など
9月29日(月)	契約案件など議決、代表質問
9月30日(火)	代表質問
10月1日(水)	代表質問、議案付託、決算特別委員会①【第一・二部】副委員長の互選など
10月3日(金)	常任委員会
10月6日(月)	補正予算など議決
10月7日(火)	決算特別委員会②【第一部】会計室/財政局/議会事務局/選挙管理委員会/人事委員会/監査委員 【第二部】建設局
10月9日(木)	決算特別委員会③【第一部】消防局/環境局【第二部】病院局/保健福祉局
10月15日(水)	決算特別委員会④【第一部】まちづくり政策局【第二部】保健福祉局
10月17日(金)	決算特別委員会⑤【第一部】危機管理/総務局/デジタル戦略推進局 【第二部】農業委員会/経済観光局
10月21日(火)	決算特別委員会⑥【第一部】市民文化局【第二部】交通局/スポーツ局
10月23日(木)	決算特別委員会⑦【第一部】子ども未来局【第二部】都市局
10月27日(月)	決算特別委員会⑧【第一部】教育委員会【第二部】下水道河川局/水道局
10月29日(水)	決算特別委員会⑨【第一・二部】討論および採決
10月31日(金)	最終日

## 市議会からのお知らせ

### 会議日程を調べるには

本会議や委員会の日程は、市議会ホームページに掲載しています。

会議の日程は  
こちらから▶



### LINEで情報配信中

市公式LINEで、会議日程や市議会だよりの発行などの情報を受け取れます。スマホなどで下記コードを読み取り、友だち登録の上、トーク画面のメニューから「受信設定」を開き、配信を希望するカテゴリで、「市議会からのお知らせ」を選択してください。

